

# ぼうさいつくよう

津久井養護学校 防災対策・施設管理係

平成 30 年 1 月 19 日 発行

## 避難訓練 ～火災～

今年度も第一回の避難訓練は、火災を想定して行われました。当日は、天候にも恵まれ児童生徒は、「おかしも」を守りスムーズにグラウンドまで避難することができました。火事を発見したら、大きな声で「火事だぁ～」と近くに居る大人の人に伝える練習をしました。また、職員の消火器訓練を行いその後は、ビデオ等を使用した防災教育を小学部と中学部、高等部に分かれ行いました。落ち着いた避難訓練の様子を見られた消防署員の方からもお褒めの言葉をいただき、実りある避難訓練になりました。



静かに避難しています。



講評をいただきました。



津久井消防署のみなさんです。



消火器の使い方を教わりました。



## 避難訓練 ～地震～

第二回目の避難訓練が、9月13日（水）に地震を想定して行われました。毎月ある防災訓練のおかげもあり、緊急地震速報から避難開始の指示があるまで、それぞれの活動場所に応じてシェイクアウトの体勢をとり、自分の身を守ることができていました。また、校庭への避難も「おかしも」のルールを守り、すみやかに行うことができました。

起震車体験では、震度5弱～震度7の揺れがどのようなものかを実際に体験しました。何も家具のない起震車の中で、消防署員から言われた「体・頭を守って、姿勢を低くする」という約束を、自分で守ったり、教員と一緒に守ったりしながら、地震の怖さを身をもって体験する貴重な機会となりました。最後に消防署員さんから、家庭では机等の家具がある状況で地震が起こるので、日常的に家族で防災について話題を出す等の機会を持って欲しい、何よりもそれぞれが自分の身を自分で守れるようになって欲しいとのお話がありました。是非、各ご家庭でも防災について考える機会をもっていただけたらと思います。



全員、静かにすみやかに避難できました。6分で避難完了。



起震車にのり震度7を体験しました。



消防士さんのお話をしっかり聞けました。

## 防災宿泊研修

今年度初の試みで、高等部1・2年生が学校で防災宿泊研修を行いました。体育館の中を段ボールで仕切り、部屋を作りました。そこに、支給されたマットや毛布を各自運び入れ、どきどきの夜を迎えました。慣れ親しんだ学校ではあるものの、泊まることは初めての体験。戸惑いもあったと思いますが、そこはさすが高等部！防災食を使った夕食やナイトウォークにも落ち着いて取り組み、無事体育館で一夜を過ごすことができました。

翌日の朝には、消防士の方が来て、防災に関する話や講習をして下さいました。そこには、緑区イメージキャラクターのミウルも遊びに来てくれました。最初は恐がり、近くに寄れなかった生徒も最後にはさわることができ、楽しいひとときとなりました。様々な貴重な体験ができた、1泊2日でした。

この防災宿泊研修のために、学校にかわいい介護用ロボ“パロ”ちゃんが遊びに来てくれていました。みんな休み時間に会いに行き、その見た目や動き、声にとっても癒されました。



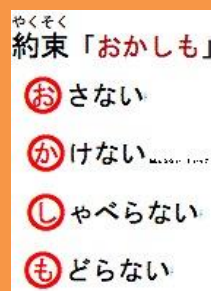
初めてのことにどきどき・・・かわいいパロと一緒に、1泊2日頑張りました。

## 避難訓練 ～土砂～

津久井養護学校は、一部、土砂災害警戒区域に指定されています。1階学習室や食堂がその区域に当たります。それに伴い、年1回の訓練が義務づけられているため、12月に土砂崩れが起きた想定で訓練を実施しました。児童・生徒全員が落ち着いて、避難することができました。

## シェイクアウト訓練

毎月1回、シェイクアウト訓練を実施しています。予告なしで実施するため、授業中であつたり、休み時間であつたりと毎月違う時間帯で行っています。警報音が流れると、すばやく机の下にもぐったり、頭をおさえたり、先生の指示にしたがって身を守っています。今後もこの訓練を続けていきます。ぜひ、ご家庭でも防災対策や話し合い等を行ってください。



自分の身は自分でしっかり守っています。